

SIMIULATIONすざか2030

今日の流れ

- 13：30～14：30 須坂市の財政状況
- 14：30～16：30 自治体経営シミュレーション
ゲーム
- 16：30～17：00 振り返り

本日の目的

これからの行政経営に不可欠な
「**選択と集中**」の視点を持つ。

- 財政の正しい知識を知ること
- 新しい政策課題に取り組むために、施策・事業の選択と廃止について対話を通じて考えること

SIMULATION2030とは

- ・自治体の財政運営を体感できるシミュレーションゲーム
- ・熊本県庁の職員有志が3年前に開発
- ・2030年問題（人口減少， 税収減少， 高齢化）を「自分ごと」として体感できる

知っているようで意外に知らない
「財政」「予算」「財政課」

知ってほしいのは
2つの簡単なルールです

「財政」の基本ルール①

①収入の範囲に支出を抑える

自治体職員は「予算」というと「自分の使えるお金」と思いがち

→役所は分業が進んでいるので、お金を使うのは各事業部門、入ってくるお金の管理は財政部門で一元化

→事業部門では、**お金が足りないことが実感できない**

→**使えるお金の限りがある**ことをお知らせして全体を調整

「財政」の基本ルール②

②「市民の納得」が得られるようにチェックする

収入の大半は市民の皆さんからの税金

→税金には色がついていないので何にでも使えますが、実際に使うには市民の代表である

「議会」の議決が必要

→議会のチェック=市民の納得が得られる使い道であるかどうかのチェックが必要

「財政」のことを知ってほしい

- ・収入の内訳はどうなっているのか
- ・どこにどのくらい使われているのか
- ・将来の見通しはどうか
- ・「財政が厳しい」とはどういうことなのか
- ・財政破たんしないのか
- ・これから先、「厳しい財政状況」をどうやって乗り切っていくのか

では、財政の話をはじめましょう。

(市財政課よりお願いします)

では、そのジレンマを
体験してみましよう

いざ、SIMULATIONすざか2030
の世界へ！

2時間お疲れ様でした！

このゲームを通じて、
あなたが感じたこと、
気が付いたことはなんですか？

SIMULATION2030で感じたこと①

・「選択」「説明」「対話」が難しい

・「対話」に必要なこと

- ・最後まで与えられた役職を務めたか（立場を超える）
- ・第1ステージでのカードの共有は（情報の共有）
- ・第2ステージの時間は余る？（価値観の共有）

SIMULATION2030で感じたこと②

・「ビジョン」「全体を見通す目」「未来からの視点」
が大事

第3ステージの持つ意味，わかりましたか？

これを最初にやっていたら・・・

→残ったカードが私たちの未来

→廃止する事業の議論に終始してなかったか

未来からの視点とは

・私たちのまちの未来はどうやって共有する？

→総合計画があるじゃないか！

10年先，20年先の自治体の理想の姿。

市民と話し合って決めた未来予想図。

→あなたの総合計画は，政策選択が可能な判断基準になってますか？

（総花的ではダメ！）

SIMULATION2030の使い方

- ・**財政運営**の厳しさを体感するツール
- ・**政策選択**を体感し、自分たちのまちの未来を共有するツール
- ・**「対話」**で物事を決めていくことの難しさや必要なスキルを身につけるツール
- ・・・etc.

財政健全化の実現に向けて

・「ビルド&スクラップ」

→「スクラップ&ビルド」(見直しができるものを見直して、そこで生まれた財源を新たな投資に回す)ことは、もう10数年も行財政改革を実行してきた自治体では不可能

→まずやるべきことを先に「ビルド」し、それよりも優先順位が低いものを「スクラップ」していく

